

計画事業番号	00255	事務事業名	北広島市PTA連合会支援事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	607
--------	-------	-------	----------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市PTA連合会補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和51年	個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 3 節) 家庭・青少年健全育成の推進	
	(施策 1) 家庭の教育力向上への支援の充実	
2 対象	北広島市PTA連合会	
3 目的と内容	児童生徒の健全育成を進めるため、学校単位のPTAの連携を図り、保護者等を対象とした研修会等を実施するPTA連合会の活動を支援する。	
4 実施内容 (手段)	27年度まで	北広島市PTA連合会に補助金を交付 ・市P連活動交流会、母親研修会、研究大会の開催 ・石狩管内PTA連合会単P会長会議、北海道PTA連合会への参加 ・青少年健全育最活動への参加 ・通学路の安全対策、教育環境整備への要望活動
	28年度	前年度までと同じ

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
PTA連合会への支援	市PTA連合会に補助金325千円の交付	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	児童生徒の健全育成を図るため、学校だけでなく家庭での教育力を高めることが必須であることから、活発なPTA活動の支援が必要である。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			325	325	325	325
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	325	325	325	325
		① 合計	325	325	325	325
	人件費	② 人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	450	450	450	450
		総事業費①+④	775	775	775	775

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①市P連研修会開催回数	目標値	12	12	12	12
		実績値	2			
	②道P連研修会開催回数	目標値	1	1	1	1
		実績値	1			
	③	目標値				
		実績値				
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	①参加延べ人数	目標値	430	430	430	430
		【指標の定義(算式等)】 実績値	461			
	②	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				
	③	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	PTA活動は、学校と連携した児童生徒の健全育成に寄与しており、PTA活動の活性化を図るための支援が必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	児童生徒に対する保護者としての義務、責任、指導などの家庭教育全般について、研修会や講演会を開催し、意識啓発に役立っている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	マンネリ化、特定の役員のみでの活動とならないよう、活動内容や役割分担を見直し、積極的なかわりを促す活動を行っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	各種事業の経費として連合会に一括補助を行うことにより、効率的な運営が図られている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 255

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市PTA連合会補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市PTA連合会 会長 高島真一	設立年	昭和51年
構成員(団体)数	PTA14団体、会員数5,082人 (28年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	各学校単位PTAとの連絡調整を図り、教育の振興に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1、市P連活動交流会の開催 2、市P連母親研修会の開催 3、市P連研究大会の開催 4、石P連ブロック単P会長会議への参加 5、道P連、石P連研究会等への参加 6、通学路・教育環境整備の要望		
事務局の状況(27年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	325	325	325	
	会費	1,001	978	966	
	雑入		52	1	
	繰越金	58	29	37	
	収入合計(B)	1,384	1,384	1,329	
支 出	事務局費	2	2	10	
	旅費	100	125	77	
	会議費	33	30	50	
	渉外費	25	28	21	
	事業費	572	552	566	
	負担金	624	610	604	
	予備費			1	
	支出合計(C)	1,356	1,347	1,329	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	28	37	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		24 %	24 %	24 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		572	552	566	
対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)		57 %	59 %	57 %	
補助・交付金の算出根拠		定額325千円			